おはようございます。こうして皆さんの顔を見ながら話をするのはずいぶん久しぶりです。

桜の花がどんどん咲き始めていますね。もうすぐ満開になりそうです。今年はいつもよりずいぶん早いです。

先週の火曜日、16日に3年生が卒業していきました。卒業生は、落ち着いた雰囲気の中で卒業証書を受け取りました。答辞の中で、代表の人は去年の今頃、不安な気持ちで過ごしていたことを語っていましたが、最後に「感謝の気持ちをわかれの歌に込めます！」と締めくくっていました。その言葉通り、心のこもった素晴らしい合唱をこの体育館に響かせて旅立っていきました。

この1年間は、みなさんにとってかけがえのない大切な1年でした。

皆さんは、「大切なものは何か」について、たくさん考える機会がありました。

「友達と会って話すこと」や「普通に学校で授業を受けたり、クラブをしたり、休み時間に遊んだり」すること。学校が始まると、できて当たり前のように思いますが、ほんの1年前、2カ月にもわたって、全くできなくなっていたことを、皆さんは忘れてはいないでしょう。

皆さんはこの1年、たくさんの困難を乗り越えて、頑張ったと思います。

2年生の皆さん、間もなく3年生になりますね。23日に合唱発表会で聞かせてくれた歌声は、大変すばらしかったです。4月から最高学年としての活躍を期待します！

1年生の、皆さん、この1年で本当に成長しました。22日の球技大会では、しっかりと体育委員を中心に行事に取り組んでいました。4月には後輩たちが入学してきます。成長した中学生の先輩と

して、自身をもって、やさしく、いろいろな事を教えてあげてください。

今、感染症はまだ猛威をふるっていますが、いつかは、ワクチン接種や治療薬の開発、感染防止の効率的な方法などがわかってきて、ある程度コントロールされていく日がやってくるでしょう。

その時、再びグローバル化の波がやってきて、地球規模でのモノや情報のやりとりが、おこなわれるでしょう。人々は、再び「豊かなモノに囲まれて、便利さを追求する」ことにばかり夢中になるかもしれません。皆さんにはぜひ、この1年間に感じたことを忘れずに、モノの豊かさや、便利さのみを追求するのではなく、人とのつながりを大切にして、思いやりのある世界を作っていって欲しいと思います。

それでは、4月に、皆さんとこうして会えることを、心待ちにしています。

以上で話を終わります。

中学校 校長 田中明美